会　議　録

１　会議名

令和７年度　第１回金谷区地域協議会

２　議題（公開・非公開の別）

○自主的な審議（公開）

・空き家対策について

３　開催日時

令和７年４月９日（水）　午後６時３０分から午後７時４０分まで

４　開催場所

金谷地区公民館　集会室１・２

５　傍聴人の数

１人

６　非公開の理由

―

７　出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委　員：　村田会長、阿部副会長、長副会長
淺野委員、大瀧委員、大西委員、小竹委員、小林委員、小山委員、
白石委員、滝澤委員、星野委員、益田委員、宮越委員、吉野委員

・事務局：南部まちづくりセンター　大島所長、小池副所長、石黒係長

８　発言の内容

【小池副所長】

・１５人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第８条第１項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【村田会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：白石委員と滝澤委員に依頼

― 次第２自主的な審議　空き家対策について ―

【村田会長】

次に次第２自主的な審議　空き家対策についてに入る。

事務局に説明を求める。

【小池副所長】

・資料№.１により説明

【村田会長】

・意見交換会の内容について、意見を求める。

２班の町内会長５人は、大貫４町内に中ノ俣が入るのか。

【小池副所長】

手元に資料がなく、どこの町内だったかすぐにはお答えできない。

【村田会長】

飯小学校区は１１人でよろしいか。

【小池副所長】

間違っていたら教えていただきたい。

【宮越委員】

中ノ俣など町内会として扱っているのか。

【小池副所長】

扱っている。

【滝澤委員】

アンケートの案についてだが、１、２番は答えられるが、３番の「上越市の空き家バンクや空き家活動支援策についてご存知ですか」という設問で、「空き家バンクはご存知ですか」はわかるが、「支援策についてご存知ですか」といっても、支援策はたくさんある。これについてご存知ですかと言われても、一つ、二つ知っているだけで、分かっていると答えるのが、ここの設問が非常に漠然としていて、町内会長たちは答えにくいと思う。支援策も解体費の補助、実家に帰ってきたときの補助、細かいものを挙げればいっぱいあるので、それらについて全部知っているかと言わ

れても、全部知っている人はいないと思うし、聞くのであればこんな対策があるが、それについて何かご意見をお持ちかとか、問題点はあるかとか、そういう聞き方のほうがよいかと思う。

【村田会長】

空き家活用支援策について具体例にいくつあるかよく分からないが、対策の項目を書いて、このことについてご存知かといったほうが分かりやすいという解釈でよろしいか。

【滝澤委員】

知っている、いないだけではなくて、空き家対策についてこんなことがあるが、改善案や問題を感じている点はないかという聞き方のほうが、アンケートとして回収したときに町内会長の意見が分かりやすいかと思う。ただ、知っているか、いないかと聞いても、その後それを知っていると答えた町内会長や、知らないと言った町内会長に対して、それをどう活かすのかと言ったときに活かしようがない。それよりもこういう対策があるがこれについて何か問題点を感じていませんかとか、改善策はありませんかと聞いたほうが、その改善策を挙げてもらったら、それを地域協議会で取り上げられるとか、参考にするとかすることができるのではないか。

【村田会長】

支援策を箇条書きに書き込むことは可能か。

【小池副所長】

可能である。

【小林委員】

先ほど事務局が言われたように、あまり細かいことを聞いても、町内会長としても空き家対策に対する意識のスタートラインがまだ非常にグレーだと思うので、例えば今のお話であれば、空き家情報バンクという言葉だけに留めるのはどうか。実際に空き家活用支援策というところまで踏み込んで把握している方というのは、多分、空き家所有者しかないと思う。町内を束ねている町内会長が果たしてそこまでのことを今理解していて問題意識を持たれているかというと、多分そこまで辿り着いていないと思う。

【滝澤委員】

問題意識を持っている方は、ほとんどいないと思う。私はずっと前から言っているように、市の空き家バンクというのは非常に問題が多いと思っている。その問題点について考えている人が少しはいるかもしれない。だから、空欄でもよいと思う。分からなかったら分からない。空欄にして答えなくてもよいが、問題点を感じている町内会長がおられたら、どんな問題点を感じておられるかを把握するアンケートとして載せてもよいのではないかと思う。

【大島所長】

まず１番目で、空き家の管理で問題になっていることはあるかという問いがある。そこで、今言われたようにどれだけ問題意識があるかは分からないが、困っていることがあれば、そこでどういう問題があるかをある程度お聞きできるのかと思っている。そこで、あまりこれを知っているか、この課題はどうかということになると、今小林委員が言われたように、いきなりそれを投げかけても、町内会長も答えるのは難しいのではないかと考えてこういう作りにしてみた。

【宮越委員】

３番目の設問自体が時系列の流れから言うと、金谷区の町内会長会で説明するのか。その中で市の空き家対策概要と書いてあるが、その内容をどの程度説明するつもりなのか。

【小池副所長】

これについては、５月１４日の意見交換会のときに建築住宅課からもらってあるチラシを配って、事務局のほうでざっとお話しするだけである。

【宮越委員】

この３番の質問は順番から言えば、ひっくり返っているというか、まず当日に説明もしないでこのことを聞くこと、当日にそのアンケートを配ること自体無理があるのではないか。今滝澤委員も言ったが、ほとんどの町内会長は市の空き家バンクが何かは知らないと思う。知っていても名前程度だと思う。支援策の具体的なことになると、稀にしかいないのではないか。そうすると、支援策についてご存知かということ自体どうかという気がするし、細かに挙げても、ほとんど知らないという

可能性があるので、もし、この３番の質問を活かすのであれば、町内会長会での説明に資料を配って、その時に若干説明するのなら意味があると思うが、それをしないのであれば３番自体意味がないと思う。

【白石委員】

空き家バンクについては、固定資産税の納税通知書の封筒の中に小さい案内の紙が入っている。皆さんそれを多分見ていると思うので、それはご存知ですかと書いても意味がないと言えばそれまでだ。上越市の空き家バンクのほか空き家の支援策はたくさんあって書き切れないと思うので、今回はそこを外しておけばよいのではないか。

【宮越委員】

４番目は、正副会長の意気込み、意欲の表れだろうと思うのでその意味では賛成するが、こういう機会に町内会の課題とか話し合ってもらいたいことを挙げてもらうのが、逆に言うと地域協議会の責任と言うか、ただ聞いただけで何らか返さなければいけないとか、話すほうにしてみれば、金谷区地域協議会というのは、町内会長会とは別に地域の課題を考える場所なのだと皆さん理解したとすれば、何かそこで解決策の方向性を出す場ではないかと思われると、課題を挙げるということが、ある意味責任も多いのではないかと思う。町内会長にしてみれば、こういうことを聞けば、たくさんあると思う。この部分で一番答えが出ているのではないかと思うくらいで、それを抱えたときに地域協議会が耐えられるのかちょっと心配がある。

【小竹委員】

町内会長の業務だったり、どれくらい知識をお持ちの方たちが町内会長をされているのかわからないが、質問の内容として今ほどの町内会の課題だったり、空き家バンクや支援策について知っているかいないか、あるかないかをまずシンプルに確認をするということ自体はよいことなのかなと思う。その中で、町内会長によっては知識豊富で深い話ができる方もいれば、そこまで深くなくて、あまり知らないので逆に教えてくださいという町内会長もいると思うので、情報収集をするという部分では残しておいてもよいのかなと思う。今の感じだと外したほうがよい流れなのかなと思うが、採決を取る方向でもよいのかと思うのだがいかがか。

【小林委員】

別件だが、空き家に関わらず、今回この金谷区の町内会長が一堂に介して一つのテーマで話をするという場を設けていただくわけだが、地域協議会としても広く意見を地域の課題を集約するという使命を持っているわけで、そのためにもよい機会だと思う。ただ、宮越委員が言われるようにいただいた意見に対して何も答えないというわけにもいかないと思う。ただ、みんなでその意見をまず共有しようというスタンスで止まるのであれば、非常に意見を集約するよい機会じゃないかなというふうには思っていて、この空き家対策だけではなくて、実は私には聞いてほしいアンケートがたくさんある。例えば２部構成というか、町内会を法人化しているか、していないかとか、町内会費が月１回いくらぐらいかとか、集金の方法は月払いか年払いかとか、総会は代議員制なのか、通常開催なのか、委任状なのか、書面表決なのか。実際の普段の役員さんたちがご苦労されていることについて、広く意見を聞ければ貴重な機会になるかなと思い原案を作ってきた。せっかくの機会であれば、ちょっと情報収集という意味も込めて、空き家のことと、一般的なことをできればちょっと聞いていただけたら嬉しい。

【宮越委員】

私は今の小林委員の意見に賛成である。もし、４番を聞くのであれば、各町内会で課題となっていることを今後の地域協議会の審議の参考にしたい。要するに前提条件付きで、ここの場で解決するものではないという前提の質問であれば有りかなと思う。

【大島所長】

委員の言われたことは、資料の目的のところに「意見を伺って、今後の審議の参考にさせていただく」となっているから、その言われたとおりの趣旨でいい。

【淺野委員】

最初の目的の文章の出だしの言葉がちょっとぶっきらぼうすぎて、町内会長でなければいけないというような文句が、例えば、地域のまとめ役である町内会長に意見を伺いたいとか、あるいは、町内会をよく知っておられる町内会長を集めて意見を伺いたいとか、町内会長でなければいけないというような文言が入っていたほう

が、なぜ俺がこれに行くのと思わなくてすむと思う。そういう意味で、気持ち良く参加してもらえるようにした方がよい。

【小池副所長】

今日の資料の目的のところで、「町内のことをよくご存じの町内会長から」という感じでよいか。

【宮越委員】

そんな感じのほうがいいと思う。

【村田会長】

意見交換会の案は、１２日に町内会長に差し上げるようになるのか。

【小池副所長】

このままというわけではないが、会の趣旨や当日の流れが少しわかるような案内をお配りしたほうがよいかと思っている。それと、アンケートは別紙で考えている。

【村田会長】

１２日の町内会長会総会が終わった後で、貴重な時間をいただいて、手短に、耳に入れてもらうようなお願いをするので、講話をするとか、そんなことはやぶ蛇のような気がする。あと、アンケートを１２日にお願いして２５日集計に間に合うようにお願いするという、時間的なことについてはどうか。

【小池副所長】

意見交換会までに集計して、資料としたい。また、会長、副会長との事前協議までに間に合わせたほうがよいかと思い、４月２５日という日程で今考えた。

【白石委員】

期間が短かすぎるのではないか。それぞれの町内で３月末に決算をやるから、結構４月に入ってバタバタしていると思う。５月にこだわらずに考えてもよいのではないか。町内会長の意見は、どうしても必要だという感じになっているわけだから、アンケートはもう少し時間があってもよいのではないか。

【村田会長】

意見交換会のときにそのアンケートの集計をもって、参考資料として臨みたいというのが私たちの思いである。日程が５月１４日に決まっているから、そこに資料、

アンケートの結果も間に合うように集計を持っていきたい。だから、連休に入るから、もうちょっと伸ばすということになれば、４月末に持っていくことも可能である。基本的には第２の水曜日に地域協議会をやるというふうに、私たちは打ち合わせをした。白石委員はそれを後ろにもっと持っていったらどうかということか。５月１４日はずらさないようにしたい。

【阿部副会長】

アンケートの設問内容だが、私が見る限りこの内容であればそんなに時間を要しないと思う。実際に悩んでいるのであれば、それなりに書くし。いや、うちはそんなに空き家ということについてはあまりないと。例えば、うちの団地の場合はもう古いから、空き家もかなり発生しているが、農村部に行くと、そうそう空き家は発生していない。だから、そういうところにあっては、あまり書く内容ではないと思われるから、そんなに時間を要しないだろうと思う。だから、その質問項目からすれば、確かに年度的には厳しい季節だが、それにこだわる必要もないのかなと思う。

【村田会長】

では、４月１２日にアンケートをお願いして、取りまとめは４月２５日まで。そして、それについて５月１４日に意見交換会を行う。原案とおりの形で進めてよろしいか。

（よしの声）

では、そのようにさせていただく。

それから、小林委員のほうから、その他に自分たちが日頃思っている、悩んでいることを２８町内会に別紙でアンケートをお願いすることは可能かどうか。

【小林委員】

全部でなくて結構である。今、各町内会長がどんな動きされているか、他の町内の方は結構興味があると思う。私は興味があるが、こういう会があるときにいろいろ聞かせていただいたりしているのだが、せっかく２８町内が集まるので、１回そのデータを取ってみていただきたい。

【宮越委員】

適当な分量になるように、正副会長に一任にしたいと思うがいかがか。

【村田会長】

私の見解は、金谷区地域協議会がこういうアンケートを出すのは、ちょっと違うような気がしないでもない。アンケートは、町内会長がリーダーシップを取って、金谷地区町内会の２８町内会に共有して取りまとめたいのだというスタイルのほうが、より密接でよいのではないかと思う。金谷区地域協議会が、町内会費をいくらもらっているかとか、総会の開催はどういう方法でやっているか、委任状はどういう風に思っているのかと聞くのは、何のために聞くのだと思われるような気がしないでもない。だから、町内会長会の会長がこれをやるというのはどうか。

【小林委員】

日頃、皆さんどうしているか知りたいので、参考までに聞きたいだけである。

【阿部副会長】

私自身、これは町内会長会で必要だなと思う。例えば法人化されているのかいないのかでだいぶ違うので、そういうことからしても、金谷地区町内会長会が２８町内会の実際に今、法人化されてどういう運営をされているのかを共有するような形が必要だなと思う。町内会長会の中でいろいろな意見交換をする中で、やはり法人化というのは必要だなと認識していただく部分もあれば、そこから出てくる問題点を共有できることもあるので、それが各町内の発展にもつながる可能性もなきにしもあらず。そういうことからすれば、こういう問題は、逆に町内会長会の中で、内容を共有するという意味で非常に有効な部分だろうと思っている。地域協議会でこれをやるというのは、会長が言うようになぜと逆に疑問をもたれるのではないか。例えば、活用内容が明確化されて皆さんが理解されればよいが、そういうのがなくてただアンケートを取るということになると、なぜそんな話まで出さなくてはいけないのかという話になってくるので、その辺も理解していただければと思う。

【宮越委員】

昔町内会長の扱いというのは総務課でやっていて、今、阿部副会長から話に出たような実態というのは、アンケートでとってまとめた時期があるが、最近はそういうデータはないのか。もしあれば、小林委員の疑問にそのデータの結果というのが答える内容になるのではないかと思うのだが。

【小池副所長】

今、町内会のことをやっているのは、地域政策課が担当になるので、その辺について聞いてみたいと思う。

【宮越委員】

法人化については、つい最近市でまとめたものが出ている。

【阿部副会長】

法人化の関係については、届け出は市が窓口になっているので、市で全部承知している。どこの町内が何番目に法人化されたということがわかっている。

【村田会長】

この件については、町内会長会のほうへ話を持って行って、対応をお願いするということでよろしいか。

（よしの声）

アンケートの設問３、４については、滝澤委員、宮越委員が言ったことを付け加えて記述をするということでよろしいか。

【大島所長】

３番については、いろいろご意見があったのかと思う。もう少しどういうふうにするか審議願いたい。

【村田会長】

４番はよいか。

【大島所長】

４番は、それ以外の課題というところを参考にさせていただくということにして、あくまで参考にお聞きするものである。

【村田会長】

地域協議会が今後審議をする中で、何とかしてくれると思われないように。

【大島所長】

４番はそういうふうにしたい。３番だけもう一回意見を伺いたい。

【滝澤委員】

分かる、分からないに関わらず、市の空き家バンクとか、それから解体の支援と

か、それからＵターンの支援とかがあるが、何か問題点はないかとか、これについて改善案はないかというような聞き方がよいと思う。

【小竹委員】

知っているか、いないかをまず聞いて、知っている方に対して、問題点や改善点を聞いたらどうか。

【村田会長】

２段方式で、もうちょっと深く入り込んだ質問にするということでよろしいか。

【滝澤委員】

そうすると、空き家バンクについて、Ｕターン支援について、解体について、解体の補助について、ずっとあげていって、その質問を知っている方だけが改善策とか問題点はあるかというと、質問の内容が非常に多岐にわたって難しくならないか。だから、知っているか、いないかは、私は不要だと思う。だから、こういう支援策はあるが、空き家対策について上越市はこういうことをやっているが、これについて、何か問題点や改善案はあるか。あったら書いてくださいだけで私はよいと思う。

【宮越委員】

なければ答えもないという結果でよいということか。

【滝澤委員】

そうである。なければそこは拒んでよいし、知らなければ当然書けない。

【小林委員】

そうすると、知らないから書けないのか、知っているが問題点がないから書かないのかが分からない。アンケートは、本当はこっち側が欲しい結果がある。誘導かもしれないが、どういうところに落とし所を作りたいかによって、アンケートのストーリーは全部決まってくるはずで、そういう点からすると、やはり知っている、知らない。その空き家情報バンク自体を知っているということは、比較的難易度は高くないと思う。滝澤委員の言われるように、その先にある支援策というのは、もう２段階どころではなくて、かなり５段階ぐらいハードルの高い話だと思う。

だから例えば、空き家情報バンクを知っているか、知らないかというと、例えば、知っている、聞いたことある、よく理解しているというレベルがあるが、多分聞い

たことあるということがほとんどではないかなと思う。その活用策は知っているかというと、多分知らないで終わる人がほとんどだと思う。滝澤委員のようにいろいろ考えられている方がいらっしゃるとすれば、例えば、この補助金の何かの制度は知っている。ただ使ったことがないとか、この運用だと使いづらいとかという深掘りしたところに意見が落とし込まれてくると思うが、今のところまず知っているか知らないか、知らない人が多いのであれば、行政は何やっているのだということになるわけではないか。

支援策についてアピールが足りないということになるし、知っているけど使っていないとか、その次の段階の活用策にまでたどり着いていないというのは、やはり、どこがその障壁になっているのだろうという考えにくいと思うので、今のこの段階というのは、瀧澤委員がほしい答えまでには、なかなかたどり着くアンケートではないのかなと思う。やるとすれば、２段階、３段階、この町内会長でいろいろな意見があって、空き家対策で本当に困っているので、みんなで真剣に考えようというスタートラインに立った段階で、何か話すべきなのかという気がする。

【淺野委員】

おっしゃるとおりだと思う。アンケートでは、単に知っているか、知っていないかだけ聞いて、５月１４日に集まった時にその辺の具体的なことを実際に聞いたらどうか。そのほうが単純になると思う。

【小林委員】

そうすると、上越市の空き家情報バンクをご存知かというふうになると、その空き家に関する各種支援制度の名前を入れてもよいかもしれない。例として。それはご存知かとか、２段階でも３段階でもよいと思うが、もう少しこちらがほしい情報の入り口だけでもよいので、もうちょっと誘導するような形でもよいのかもしれない。

【村田会長】

町内会長が、空き家対策をご自分でどんなふうに思っているかということを聞くと同時に、対策は町内会長がどうしたらよいかと町内会長のご意見を聞いてもよいのではないか。

【小林委員】

最初のアンケートとしてはハードルが高いかもしれない。この制度があるから、それを知っているとか知らないとか、皆さんと一回議論した後で、その答えが生まれてくるのが理想だと思う。

【村田会長】

私たちは５月１４日をゴールにしているのか、スタートにしているのか。

【大島所長】

５月１４日がゴールというのは難しいと思う。かつ、滝澤委員の言われているのは、アンケートである程度のものを獲得しようというお考えだと思うが、アンケートではそこまで難しいのではないというのが、他の委員のご意見かと思うので、淺野委員が言われたように、アンケートではどういう状況かを把握して、それを基に意見交換でもう少し話をそれぞれの班で深めてもらうのがよいのではないのか。

【小池副所長】

３番の設問だが、淺野委員がおっしゃるように、知っているか知らないだけにして、当日の意見交換会の時に市の担当課からもらった簡単な空き家対策のチラシを当日配布して簡単に説明した後、３班に分かれてチラシを見たり事前アンケートの結果を見たりしながら、支援策についてや他の課題について話し合っていただければよいのではないかと思うのだがいかがか。

【村田会長】

事務局から説明のあったやり方で、滝澤委員にしてみれば、空き家対策の本当に入口だけのアンケートになってしまうかもしれないが、それをもとに５月１４日に時間を設けて、実際に意見交換をするというふうにつなげていく。もうちょっと設問に具体策があればよりよいのだが、今、事務局も言ったような形で取り組ませていただくということで、いかがか。よろしいか。

（よしの声）

【小池副所長】

当日の会の名前だが、本日の資料では「金谷区地域協議会と町内会長の意見交換会」というネーミングで考えてみたのだが、会のネーミングについて何かご意見が

あったらお願いしたい。

【宮越委員】

説明を聞いていて、すぐに逆だなと思った。

【村田会長】

わかった。ごもっともである。

【小池副所長】

ネーミングとしては、「金谷区町内会長と地域協議会の意見交換会」という会の名前でよろしいか。

【村田会長】

中には、町内会長様という敬語を使ったらどうかという意見もお持ちの方がおいでになるかもしれないが、それは事務局とよく打ち合わせをして対応したいと思う。

・他にこのアンケート等についての意見、質問を求めるがなし。

それでは、今皆様方からいただいた意見をもって、内容変更しながら進めさせていただきたいと思う。

以上で次第２自主的な審議（１）空き家対策についてを終了する。

― 次第３　その他 ―

【村田会長】

次に、次第３　その他に入る。

私のほうから２点概要説明をさせていただく。

１点目は、３月１５日に金谷地区公民館が竣工式を迎え、私が金谷区地域協議会を代表してテープカットの席に就かせていただいた。市長、金谷地区振興協議会の髙橋会長、金谷地区町内会長会の山口会長、そして、地元の神山町内会長、それから、渡辺議長と一緒にテープカットをさせていただいて、竣工の喜びを分かち合ったというところである。３月１５日は天候にも恵まれ、午後１時にテープカット、そして午後２時３０分から金谷地区町内会長をメインとする、いわゆる金谷地区の町内会の方々を優先して内覧会が取り行われた。一般の方の内覧会は、翌日の１６

日に行われた。大勢の皆さまが内覧にお越しいただき、たくさんの顔見知りの方がお越しになった。

２点目が、３月２７日に上越市全体の地域協議会の会長会議があった。それは新聞でもご覧になったと思うが、その内容は地域協議会の委員の公募公選制度が廃止になるということで翌日の新聞にすぐに記事が出た。主たるものが、地域協議会の委員を選出する方法が、２０２８年度から公募公選を廃止して、公募が一部あると同時に応募多数の場合、選挙は行わないで行政側が書類審査で決めるというやり方にすると説明があった。より多くの市民が参画できるようにという配慮と合わせて、委員の任期は２期のみということになった。また、無報酬だった現行制度を改め一定の報酬を支給するということで、これは２０２８年度からである。私たちには該当しない。それについて文句を言った委員はいなかった。でも、心では思っていたと思う。なぜ改正するのに３年もかかるのだと。遅すぎるなと私は内心思った。来年からやってもよいのではないか。

そういう制度を決めて、２０２８年から実施する方針を私たちに説明があった。いろいろな意見が出た。もっと早くやれないのかと。そういう会に私が代表して出席してきた。これは直江津学びの交流館で行われ、その後、懇親会を行った。この説明を一生懸命された行政の方が、４月１日から他部局へ異動するという話を聞いて、なんだと思った。

【宮越委員】

人が変わっても、政策制度は変わらないと信じている。

【村田会長】

事務局より今後の日程について説明を求める。

【小池副所長】

・金谷区町内会長と金谷区地域協議会の意見交換会：

令和７年５月１４日（水）午後６時３０分から　金谷地区公民館

・第２回協議会：令和７年６月１１日（水）午後６時３０分から　金谷地区公民館

【村田会長】

全体をとおして質問、意見を求める。

【吉野委員】

今回、滝澤委員の空き家問題に対して１年やってきて、一つ形ができて方向が向かっていったのだなと認識している。その中で、私が村田会長に声をかけていただいて、この金谷区地域協議会に力を貸したいと思った理由の一つに金谷区には金谷山という山がある。空き家対策は多分全国でも問題だと思うが、やはりその金谷区に関して、やはり住んでよい街、魅力のある街になっていってこそで、そういった空き家だったり、対策になっていくのだろうなと思う中で、私はこの金谷山というシンボル的な山をもっと素敵に発信して、いろいろな方たちが集まるようなところにしていきたいという思いが強く、ここに参加しているというのもある。

小竹委員や小林委員のように若くていろいろなユーモアがあったり、いろんなアイディアがあったりする方たちも揃っているし、今この２期という期限が決まった中で、何か手がけていきたいなと思っているので、今後どこかでそういう展開になっていったら嬉しいと思っているので、頭の片隅に入れていただきたい。

【村田会長】

頭の芯に入れさせていただいて、課題につながるように皆様と話し合いをさせていただきたいと思う。他にどうか。

【淺野委員】

私も吉野委員の意見と全く同じだが、２０年くらい前にアメリカのユタ州に仕事で行って、５月くらいだったが、夕方６時半くらいになると外の喫茶店ではない飲み屋のオープンテラスで、皆さん仕事を早く辞めてそこで飲んでいる。野菜のスティックとビールで、すごくこう開放的でよかったなと思うので、おっしゃるとおりこの辺りをそういうオープンテラスにして皆さんが来て楽しめるような場所になるとすごく嬉しいなと思っていた。

【村田会長】

公民館にもテラスがあるが、そこで飲食が可能かどうか。

【淺野委員】

私は、帰国してから、わざわざ妻を連れて、５時半くらいの電車に乗って高田へ行って夕飯を食べて帰ってくることを何度かやった。やはりそれだけ印象が深かっ

た。

【村田会長】

他にいかがか。

【大西委員】

心は一緒である。そのためにここで頑張って一生懸命やっている。ぜひ飲食できるようにしてほしい。

【小林委員】

吉野委員の提案についてヨーデル金谷のことも一緒に同時平行で前進させていきたいと思う。

【村田会長】

個人的に日曜日に昼食を食べに行ったが、満員で入れなかった。喜ばしいことだなと思っているが、それ以上に活性化につながればと思う。他よろしいか。

・会議の閉会を宣言

９　問合せ先

総合政策部　地域政策課　南部まちづくりセンター

TEL　：０２５－５２２－８８３１（直通）

E-mail：nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。